



南小ホームページ QR コード

今月のテーマ



特別支援学級について

今月は特別支援学級についてお伝えします。先月号で紹介しました「通級指導教室」と違い、対象の児童が在籍していれば、どこの学校にも設置されます。現在本校には、人とのかかわり方や気持ちのコントロールなどに困り感をもつ子どものための「あすなろ学級」、特に学習面に困り感をもつ子どものための「ひまわり学級」があります。その他にも、「肢体不自由」、「難聴」、「弱視」、「病弱」など、それぞれの子どもの困り感にあわせた学級があります。

特別支援学級の特徴

少人数（一学級最大8名）の静かな環境の中で、児童の困り感に合わせた指導を個別に受けながら、学習を進めることができます。教室を学習する場所や作業をする場所、リラックスする場所などにわけ、目的に応じて場所を変えて過ごすこともできます。

学習について

国語、算数等の教科学習について、学校と保護者で検討し、支援学級と交流学級（1-1、2-1 など）のどちらの学級で学習するか決めます。

特別支援学級では教科学習に加えて、自立活動という学習をします。自立活動は、子どもの困り感を改善・克服し、自立することを目指すための学習です。今年度は、気持ちの度合いを表す温度計を作成し、怒りや不安な気持ちをコントロールする方法を考えたり、バルーンフェスタの「きっずデー」に参加することを通して、バスや電車の乗り方や公共の場での過ごし方、工夫したお金の使い方などを学んだりした。この他にも3学期は、あすなろひまわりファクトリーなどを行う予定です。

○特別支援学級への入級の流れ

- ①生活している中で困り感がある場合、病院を受診し、どんなところに困り感があるのかを知るために検査（WISC など）を受けます。
- ②検査結果や診断書を学校に提出します。
- ③学校で必要な書類を作成し佐賀市教育委員会に提出します。
- ④教育委員会がどのような支援が最適かを判断し、その結果が学校に届きます。
- ⑤特別支援学級で学習することが適切という通知が届いたら、保護者が「入級承諾書」に記入します。
- ⑥学習内容や支援について、どのように行っていくのか、学校と保護者で話し合いながら決めます。

🌸🌸 来月のテーマは、「困り感をもつ児童への具体的支援について ~その1~」です。お楽しみに！